

政策評価トピックス 第 69 号（2006 年 7 月 15 日）

・宮城県：県民満足度調査

宮城県では、行政活動の評価に関する条例に基づいて県民満足度調査を実施していますが、このほど第 5 回の結果を公表しました。県民満足度調査は、一般県民（回答者数 1,721）、有識者（市町村職員）（同 338）、有識者（学識者等）（同 69）を対象として、36 政策の重視度と満足度について行われています。この結果、「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」と「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」は「重視度」が高く、かつ昨年度よりも順位を上げていますが、「雇用の安定と勤労者福祉の充実」は、重視度は高いが、順位は下がっています。「新しい時代を担う産業人の育成」、「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」、「消費者ニーズに即した産業活動の展開」、「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」は、重視度は「ある程度重要である」、満足度も「ある程度満足である」となっています。

<http://www.pref.miyagi.jp/hyoka/18mannzoku/18kekkagaiyou.pdf>

・静岡県：業務棚卸表

静岡県では、このほど「18 年度業務棚卸表」を公表しました。業務棚卸表では、室ごとに目的を達成するための仕事の内容をすべて書き出すことになっています。

例えば、農業水産部農業総室畜産振興室（家畜衛生）の「食の安全を確保する取組の推進」をみると、総合計画指標として、「農業産出額」、「食の安全に対する県民の信頼度」が、管理指標として「法定伝染病の発生件数」、「抗生物質等の残留件数」、「農家立入実施率」、「動物用医薬品販売業立入検査実施率」、「HACCP 推進農場数」、「死亡牛 BSE 検査実施率」が、それぞれ選定され、また「18 年度の改善のポイントや重点方向等」が記載されています。

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/gyotana.nsf/index>

・長崎県：部局長の職務目標

長崎県では、このほど県の各部局長が平成 18 年度の「部局長の職務目標」を作成し、県知事に提出しました。職務目標は、県民に県が取り組む施策をわかりやすく説明するとともに、県の職員に対し、今年度、重点を置いて取り組む事業をできるだけ数値目標を示しながら具体的に確認させ、責任意識を持って職務に取り組むよう促すことが大きな目的としています。

例えば、農林部長の職務目標では、新規就農者数、認定農業者総数、集落営農組織数、モデル耕作放棄地対策組織、さちのか（いちご）等の栽培面積、レンゲ米・減農薬米等の区分出荷量、年間販売高 1 億円以上の肥育経営体数などについて 18 年度の目標値が 17 年度の実績値とともに示されています。

<http://www.pref.nagasaki.jp/kikaku/mokuhyo/h18mokuhyo/index.html>

・宮崎県：部長マニフェスト

宮崎県では、このほど各部長が「部長マニフェスト」を作成し、知事に提出しました。部長マニフェストは、部長の組織運営に関するマネジメント意識の向上を図ること、職員が目標を共有して職務に励むことにより組織としての力を最大権に引き出すこと、県が取り組む事業やその成果を県民に分かりやすく説明することを目的としています。

例えば、農政水産部長は、企業経営体・組織の育成、みやざきブランドの確立、エコ野菜などの生産体

制の強化，宮崎県版適性農業規範（GAP）の策定，地産地消，産地強化，優良な繁殖和牛の導入促進，畑地かんがいなどについて目標数値を掲げています。

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/somu/gyokei/manifesto/bucho_manifesto.html